

# 令和4年度 第1回大和市学校給食費検討委員会 会議録

日時：令和4年10月11日（火）  
午後3時～午後4時15分  
場所：大和市役所 会議室棟  
2階 202会議室

出席者：岡田弘美委員、新井隆委員、清水恭委員、阿部ゆり亜委員、  
吉岡雅子委員、田中由美子委員、平野香澄委員、平澤理子委員、  
原岡喜世美委員（9人）

欠席者：なし

事務局：保健給食課長、保健給食課保健給食係長、同係員、同係栄養士2人  
北部学校給食共同調理場栄養士2人、小学校栄養教諭

傍聴者：0人

\*\*\*\*\* 以下、要旨記録 \*\*\*\*\*

1. 教育長あいさつ  
教育長よりあいさつ。
2. 委員紹介  
委員自己紹介。
3. 会長、副会長選出  
「大和市学校給食費検討委員会要綱第4条」により選出。  
会長…岡田委員 副会長…清水委員  
会長あいさつ、副会長あいさつ。

会長より本委員会の開催が宣言され、以降の議題については会長が議事進行。

4. 議題  
「大和市学校給食費の現状について」  
事務局より説明。

## 質疑応答

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | 資料 3-4「物価高騰への対応」の中で「地方創生臨時交付金を活用し」と記載があり、金額が89,692千円となっているが、本来はどのようなものに活用され、またどのような経緯で給食費に充てることとなったのか。                       |
| 事務局 | 国から地方創生臨時交付金という形で、各市町村の人口規模に応じて交付されたものであり、大和市においては、生活困窮対策として5億円ほどの交付を受けている。使途については、市内部で調整した結果、給食費の補助として89,692千円が充てられることとなった。 |
| 委員  | 了解した。  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | 資料 3-2 の項目 2「学校給食費として」の文中「学校給食を受ける児童又は生徒の学校教育法第 16 条に規定する『保護者』の負担とするとなっています」について、給食費の支払いは保護者の義務なのか。それとも、義務ではなく任意なのか。大和市では全員に給食を提供するというスタイルだと思うが、税金と同じように、「給食費を払う義務」なのか、または「支払いをお願いする」というスタンスなのか。                            |
| 事務局 | 法令等で「義務」という言葉は使われてはいないが、義務に近いものとする。国の考え方としては、施設管理、調理場の職員の人件費等、そういったものは全て行政が負担し、食材料の部分については基本的には保護者負担とすることとなっている。  |
| 委員  | 関連して、昨年、一昨年と学校給食共同調理場運営協議会にて意見したが、運営協議会の資料の中で、二年続けて給食費の未納額が多い印象を受けている。今回、安定した給食の提供のためという主旨は十分理解出来るが、大和市として、未納額を回収せずに、未納のお子さんにも一律に給食を提供しているという現状をどのように考えているのか。   |
| 事務局 | 現在、滞納されている方については、学校側と協力しながら様々な機会に納付いただくようお願いし、年度を越えてからでも納付していただいている状況である。強制徴収は難しいが、引き続き学校と協力しながら対応していく。   |
| 委員  | 年度を越えて追徴して払ってくれる方は少ないのではないかという印象を持っているが、先に質問した給食費の支払いが任意的な意味合いなのか義務的な意味合いなのかによって、保護者側の認識もかなり変わってくるのではないかという点や、保護者も養育の義務というところの協力の上で、物価高騰によって給食の提供が厳しいからと値上げをしていくのであれば、一般の保護者も、一定の理解を得られると思う。そのための対応を並行して行った上で、議論するほうがよいと思う。 |
| 事務局 | 本市としても、様々な対応により、未納を無くしていきたいと考えている。  |
| 委員  | 了解した。   |
| 委員  | 単独調理校において、献立によって、冬は「手作り」なのに対し、夏は加工品を使っているようである。なのに何故、同じ給食費なのか不思議に思っている。また、単独調理校と受入校では同じ献立ではないと思うが、どのような努力をして同じ価格で差が生じないようにしているのか。   |
| 事務局 | 夏場については、食中毒対策として「手作り」を行っていない事はある。資料 3-3 の中で記載している給食費は、一食単価で提示しているが、毎食同じ金額というわけではなく、加工品のほうが幾分高めめの状況である。給食の単価として、高い献立もあれば低い献立もあり、一食単価としては平均の金額を採っている。給食の内容については、小学校で共通、中学校で共通となっており、学校によって献立の曜日は違う事はあるが、週単位では同じ献立を提供している。     |
| 委員  | 自校調理校と受入校では単価は違うのか。共同調理場と単独調理校では、単価に結構違いがあると思うのだが。  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>単独調理校でも共同調理場でも、同じ業者から仕入れた食材を共通で使用しており、共同調理場は、一か所で集約して作って配送しているという違いだけなので、単価に違いは生じない。</p>  |
| 委員  | <p>たくさん作った方が安いという感じがするが、内容は了解した。単独調理校は同校の栄養士が献立を決めているので、学校によって献立に違いがあったら、どのように差が生じないようにしているのかと疑問に思っていた。</p>  |
| 事務局 | <p>物資選定委員会において食材の価格を決めており、契約期間内においては、どこの調理場等から頼んでも、量の多寡に関わらず、決められた価格で納入される。また、出来るだけ差が生じないように基本的なメニューは合わせており、単独調理校と共同調理場では、基本的には同じ方法で作っている。</p>   |
| 委員  | <p>了解した。</p>   |
| 委員  | <p>中学校で役員をしており、実際に給食を食べる機会が何度かあった。その時の献立は、ししゃものフライ等で、役員達の中では、結構いい献立だと思っていたが、実際に出された給食は、ししゃもが一人一本で、おかずの割合等を見ても、カロリーや内容的には充実しているのであろうが、食育等が進んでいる時代に、この見た目で子供達に食欲が湧くのだろうかと思直した。一般の保護者の方は、実際に給食を食べる機会はなく、もう少し量を足しても、見た目がよい給食を子どもたちに食べてもらいたいというのが率直な感想である。しかし、一般の保護者の方は、実際出されている給食を見たことがなく、献立表で内容を確認して納得されていると思うので、現状として子供達がどういうものを食べているか保護者の方に周知したい。また、もう少し見た目を良くして、食欲が沸き、おいしい給食であることを子供たちが体感して食べてもらった方が、栄養になると思う。子供達に聞くと、「ご飯がすごくいっぱい詰まっいて、お腹はいっぱいになる」と言うが、ただ食べているだけになっているのが勿体ないと思う。市外の知人からは、中学校が給食であることをすごく羨ましがられるが、出されている給食を見ると、素直に受け取れない気持ちがある。今後、量的な部分も考慮してもらいたいと思う。</p> |
| 委員  | <p>給食を写真でアピール等したことは一度もないのではないかと。現在の給食費で提供している給食の内容を保護者の皆さん知らないと思う（他の委員からも同意の声あり）。</p>  |
| 委員  | <p>なかなか難しいところもあると思うが、もう少し、子供たちが興味を持つ給食になっていくことを希望する。</p>   |
| 事務局 | <p>中学校では、やはりエネルギーも必要だったり、ボリュームも必要だったりというところがあるが、調理場では何校分もの給食を限られた時間の中で作らなければならない。そのような中で、例えば、ししゃもフライが一本、又は唐揚げが一個で寂しいという意見もあるが、限られた時間の内で揚げなければならないため、二個付けは作れないのが正直なところである。給食費が厳しい状況なので、切り身が少し小さくなってしまったりというところはあるが、切り身を少し大きくしたりして、ボリュームを出すなど、見た目で寂しいと感じさせないようにしなければならぬと考えている。</p>   |

|            |   |
|------------|---|
| 委員         | 実際、給食を食べている先生方はどう感じているのか。年々、少しずつ寂しくなっているという印象なのか。   |
| 会長         | 私見だが、とにかく給食はありがたいと感じる。栄養バランスが整っていて、使用している食材の種類も多い。確かに唐揚げが一個は、もっと食べたいと思う時もあるが、大規模校では二個付けはなかなか厳しいと思う反面、中学生では、どうなのかと思うところもある。  |
| 副会長        | 中学生くらいになると、この量では足りないと言う子もいれば、同じ量でも多過ぎると言う子もいて、1クラスの中で混在しており、とは言え、分け合うというわけにもいかず、致し方ないところはある。個人的な感覚で言うと、メロンが段々薄くなっていき、ついに立たないくらいの厚さになった。そのような感じで見ている面はある。  |
| 委員<br>(校長) | 昨年度まで市教委に所属していたため、学校での給食を楽しみにしていた。市教委所属時は、結局外食になってしまい、毎日何を食べようかと悩み、最後にはおにぎりになってしまったりしていた。給食では、そのような事がなく、本日は、肉じゃが風の、肉や野菜でしっかりおかずになっていて、しっかりと栄養がとれる。そういう面では給食は良いと思う。外食をしていた頃に比べると、給食は栄養価として相当良いと感じている。  |
| 委員         | 子供の頃から疑問に思っていたが、牛乳は、やはり給食に必要なのか。米飯と合わない。また、毎食牛乳が付くとアレルギーの面で飲めない子等が残す事が結構増えているのではないかと思う。牛乳をやめる検討等は、市単位で出来る事ではないのかもしれないが、この時代に脱脂粉乳時代から変わらない牛乳は本当に必要なのだろうかと感じている。牛乳に関してどのように考えているか。  |
| 事務局        | 牛乳に関しては、カルシウムも含めて栄養価の高い食品であるため、毎食、ご飯でもパンでも付けている。アレルギーに関しても、牛乳に限った事ではなく様々な部分にあるが、本市では、牛乳を飲まない児童生徒でアレルギーの方には返金という対応もしている。現状、牛乳以外の飲み物は付けていない。カロリーも色々な栄養素も、摂取すべき基準があるので、それを維持していくという中で、現段階で牛乳をすぐに減らす事などは考えていない。   |
| 委員         | 了解した。   |
| 委員         | 食品フードロスの面ですが、学校に行くと、「これを残してしまうのか。」と思うことが多い。おそらく、献立によって、共同調理場に戻ってくるとフードロスの部分が多くなるのではないかと感じる事があると思うが、子供達にあまり受け入れてもらえなかった献立は、改善しているのか。また、出汁を昆布や色々な物からとっていると思うが、出汁をとった物は捨ててしまっているのか。例えば、味付けの中に加えて一個の食材として使用しているのか、又は味付けをしてふりかけのように使っているのか。捨てているのであれば、つくだ煮等に活用して一品多くてもよいのではないかと思う。出汁をとった物をどうしているのか、また、食べ残しが多かった献立の見直しについて聞きたい。 |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>残食が多かった献立については、各栄養士で残食を計測して反省も行っており、その中で味付けの問題や各食材についても、加えたり除いたり随時改良をしている。ただし、同じ味付けにしても、丁度良いと言う学校と、少し濃いと言う学校もあるので、中身であったり調理の方法であったりという所で変わってくるので、それは何回か試しながら改良を進めているところである。出汁の活用については、現時点では行ってないが、つくだ煮等のご意見もあったので、検討してもよいかもしれない。</p>  |
| 委員  | <p>ということは、捨ててしまっているのか。</p>   |
| 事務局 | <p>出汁の残りは、つくだ煮にする程の量はない。また、板昆布より細かい昆布の方が、少量でよく出汁が出たりするので、そのような面で残量あまり出ないようにしている。</p>   |
| 委員  | <p>了解した。</p>   |
| 委員  | <p>個人的な感想であるが、つい最近、下福田小学校で給食の一日の流れの取材をしたが、その時に、パンが低学年と高学年で大きさが違う事を知った。ほんの少しの差かもしれないが、提供される大きさが違うのあれば値段が少し変わってくるのではないかと感じた。また、ある日の献立が、シチューとラタトイユとパンであり、中華なのか、洋食なのか、イタリアンなのか、よくわからなかった。また、先程フードロスの話があったが、クラスによっては食べきれない子がいるので、フードロスを減らすために、先生が予め給食の分量を半分にして、申告制で、半分にしてほしい子供には切り分け、おかわりしたい子供はそれをもらう。全クラスではなく、ほんの一例であるが、フードロスを減らしていくという面では、すごく良い事だと感じた。提供される食材が大きければフードロスも大きくなるだろうし、一つのおかずを食べられないと、その子はお腹を空かせて帰ってくるだろうから、それならば、最初から提供される物を小分けにすれば、おかわりして食べられるし、食べきれない子も少しなら食べてくれるのではないかと思った。</p> |
| 委員  | <p>「給食だより」の裏面の掲載内容が20年前と変わっていない。最近、たまにイラスト等があるが、メニューの欄が、20年前とあまり変わらないというのは、そもそもどうなのか。また、昔の子供達は積極的におかわりをしていたが、今の子は、昔に比べると食が細くなっている。アレルギーに関しては、牛乳が飲めないのであれば返金するとなっているが、今は、アレルギーでなくとも子供に無理に飲ませないというスタイルである。私は、残さず食べることを言われてきたが、今は、無理して食べなくてもいいと言う。そして、無理して食べなくてもいいとなるとフードロスになる。自分の娘もそうだが、牛乳は好きではない。であれば、牛乳の栄養のバランスを考えて、牛乳ではなくて、たまには牛乳の代わりにヨーグルトを出すなど、もう少し考えてもよいと思う。</p>   |
| 事務局 | <p>「給食だより」については、皆、それで受け継いできているからかもしれない。今のご意見は栄養士に伝える。</p>  |
| 委員  | <p>例えば保護者の方にはいかに見てもらえるような紙面にするかが課題の一つで、今までがそうだったからという姿勢は今の時代にそぐわない。子供達も保護者も目を向けられるような紙面作りを視野に入れていただきたい。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 牛乳だけでなく、給食には元々の考え方がある。好きな物だけ食べてもらえれば、それが多分一番フードロスに繋がる事なのかもしれないが、それが給食と言えるのか。それは、給食という形をとらずに、自宅から本人が好きな物を持ってきて食べてもらえばよいという事になってしまう。我々の方も頑張っ、子供たちに食べてもらえるような物を提供する、それを美味しく食べてもらえる環境を作る。給食とはそういう物だと思う。そのあたりは、本日、色々な意見があったので、参考にしながら、栄養士も加えて検討したいと思う。学校の方で給食の取り分けみたいな事をするのは構わないが、コロナ禍という面も少し影響があるように聞いている。前までは、自分が食べる量を入れていたが、接触を避けるというような中で、従来の動きと変わってきてしまっているところもあると思う。量的な問題も、先程の「好きな物だけ」という考え方にもなってしまうので、提供の方法等も、我々として対応できるところは積極的にしてみたいと考える。再三意見が出ているように、捨てる物を減らしていく事も今は求められているので、残さず食べてもらえるような方法を、今後はさらに検討していかなければならないと思う。 |
| 委員  | 子供たちは、今の給食の値段や必要なエネルギーなどについては知っているのか。   |
| 委員  | 一食のカロリー等は、献立表にあり、また学校で少しだけ食育の勉強で触れている部分もあると思うが、子供たちはそこまで意識はしていないかもしれないと思う。  |
| 委員  | 子供たちが、給食は、国が決めた量がきちんと出されていて、この量を食べ切ると国から推奨されている値になるということを知っているのか、もしかしたら、自分は少し足りないなどと思う子もいるのではないかな。もう少し廃棄する量を減らす努力を、子供達にも求めるという努力は必要なのではないか。   |
| 事務局 | 栄養士が給食に関する授業は行っている。コロナになって回数が減っているところはあるが、情報提供の場は、栄養士の方で作っている。  |
| 委員  | ある中学校では、給食の時間になると、お昼の放送で放送委員が、今日の給食は何が含まれているのかなど、献立の紹介が流れている。あの原稿は栄養士等が作っているのを生徒が読んでいるのか。   |
| 会長  | 献立表を読んでいる。  |
| 委員  | 学校へ行ったときには、いつも食べる時間に給食の紹介が流れているが、授業等でも給食のことをやっているのか。  |
| 会長  | 小学校では、家庭科の授業や栄養教諭による食育と題した授業など、また、低学年の生活の課題等で行っている。   |
| 副会長 | 中学校では、栄養素に関しては教科となる。また全校で統一されていないが、学校によっては、調理場の栄養士に講義をしてもらうこともある。   |
| 委員  | コロナ禍で保護者の給食試食会等が行われていない。実施していた時は、すごく良かったという意見が多かった。この金額でこれだけ食べられるのかと保護者が実感できる機会だと思うが、少しは再開しているのか。それともまだできない状況か。   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | 学校給食講習会の共同調理場での試食会については、コロナの関係で密集、密接の回避等の観点から、このところ中止にしている。ただし、コロナが終息、または終息しつつあるような状況になれば、今後も講習会を実施したいと考えている。  |
| 委員  | 先程もあったように、献立表等で見るより写真や現物を見た方が有難みを感じると思う。コロナ禍の中では難しいとは思いますが、やはり試食会など、そういった機会は必要なのではないか。   |
| 事務局 | 給食について理解してもらうためにも講習会を開催していると認識している。ただ、繰り返しになるが、コロナで出来ない状況になっているので、開催できる状況になれば、これまでどおり講習会を開催することを考えている。募集人数が限られているので、一部の方しか経験できないが、これまで毎年開催してきたので、今後もコロナが終息してくれば実施していきたいと考えている。<br>また、今年の夏休み期間に、コロナの関係でウェブ開催の形になっているが、学校給食展を開催した。他に食育フェア等がある。コロナ前までは、親子で学校給食を作る等、シリウスで開催していたが、今回は中止となっている。これからもポスター展が1月にある等、給食に関する情報等を発信していく。 |
| 委員  | 了解した。  |
| 委員  | 資料3-1の会議の開催主旨の「今年度より学校給食費検討委員会を開催するものです」とあるが、この「今年度より」とは、継続して何年か後に幾ら位という金額の検討をしていきたいというゴールがあるものなのか、それとも、本日は現状を知って意見交換するところが目的であったのか、この会議がどのような設定をしているのか。   |
| 事務局 | この委員会、会議をどのように進めていくか、まだはっきりとしたものは無い。先程説明したが、最後に給食費を改定したのがかなり前であり、この委員会の設置自体が改定時以来なので、およそ10年行われていなかった。急激な物価高騰という事で、これが一過性のものなのか、それともそのまま継続するものなのか、今のところ見えてこない状況で、この状況では金額の提示はできない。今年度については、4月から急激に物価が上昇したので、急遽、国の交付金を活用して各校に補助したところで、これについては、11月の給食の献立表に記載した。<br>今回は、現状をお伝えしてご意見をもらうというところで設置をし、第二回以降も市の方で、庁内調整をしながら案内する。     |
| 委員  | 今、変わらないなら、来年の給食費はこのままということか。来年も、臨時交付金で対応するということか。  |
| 事務局 | 先ほども話したように、市費は限られているので、それらも含めて、庁内調整を市の方で行っていく。   |
| 委員  | そうすると、給食はどうなるのか。このままの状況で今年度のように臨時交付金がなかったら給食の質を下げるということにならないか。   |
| 事務局 | そのあたりは調整する。  |

|    |  |
|----|--|
| 委員 | 今後、物価の高騰が落ち着くとしても、下がる事は恐らく見込めないと考えた時に、今回、この臨時交付金という形での活用がありますが、保護者は、誰でも、どの子供でも学校に行けば給食が食べれる状況が作ればというところが一番で、中には朝食をとれない子も増えてきている現状の中で、学校給食の立場は本当に大切だと思う。そこに対して、逆に国や県へ給食費にかかる予算を付けてもらうための審議をしていくのも一つの道なのかと。今回の臨時での交付ではなく、少しでも子供たちの為に交付金がもらえるような検討していく、声を上げていくというのも一つなのではと思う。 |
| 会長 | その他、何か質疑等はあるか。   |
| 全員 | なし   |
|    | 【議事終了】   |

## 5. その他

事務局：次回の検討委員会は、改めてお知らせの上、日程調整をさせていただきます。

閉 会